

タイトル: 自分の仕事のやりがい

会社名: (株)株式会社兼藤 氏名: ウィン・ミン・トン(WIN MYINT TUN) 出身国: ミャンマー

みなさまこんにちは。私の名前は  
ウィン・ミン・トンです。株式会社兼藤の  
技能実習生です。出身はミャンマーです。  
ミャンマーの名前は難しいので会社で日本名  
をつけてあります。名字はな い じ け っ こ 「 わ  
た る 」 と も っ し ま す 。 現 在 私 は 日 本 に 来 て  
5年目の3号実習生です。  
今日は、この場を借りて「自分の仕事のや  
りがい」を発表したいと思います。世の中で  
いろいろな職業があります。その中で大昔か  
ら人間は住み所や住宅を創って生活をしたの  
で建設業は昔から重要で、人間は発達に  
伴って、街づくりで道路や橋を建築しました  
。なので、ある街やある国のインフラと発達  
には建設業が一番重要で、その事を私は、  
日本に来て日本で生活して自分の国の状況と  
比べて分りました。日本の公共施設、ガス、  
水道、道路、線路、電話、電気の設備など  
を見て自分が今やっている建設業の重要生  
とやりがいを感じています。私は小さい頃から

タイトル: 自分の仕事のやりがい

会社名: (株)会社兼藤 氏名: ウインミント(WIN MYINT TUN) 出身国: ミャンマー

ら、建設業の仕事に興味がありました。父親はミャンマーで家を建てる業者としてやっています。ミャンマーで家を建てるのにコンクリートと木材を使用するのは一般的です。子どもの時から父の仕事現場へ一緒に回った事があります。

日本に技能実習を学ぶため面接を受けたのも建設業会社です。建設業の中で内装作業のクロス屋をやっています。クロスと言う仕事はボードを張った壁や天井の上から、ビニールクロスや織物のクロス、紙クロスなどの壁紙を張っていく作業です。シワを伸ばしながら、決められた場所に真っ直ぐに張っていく技術が必要です。内装工は橋、道路、ビルを建てる事じゃなくとも自分の仕事が残るのは同じです。とくに大きくて遠くから見える建物や有名なビルやホテルなど自分が作業した所を見るたびに誇りたいと思います。

今日日本で職人経験5年目の私ですが、東京のあちら、こちらに自分の作業した建物が



タイトル: 自分の仕事のやりがい

会社名: (株)兼藤 氏名: ウィンミントン(WIN MYINT TUN) 出身国: ミャンマー

たくさんあります。

内装工は仕上がりが目に見えて分かるので達成感があります。建物の工事の中でも最後に行なわれる作業なので美しさや見た目<sup>が</sup>重要です。自分の仕事の成果が残り続けるのは私たちの職業で働く最大の魅力です。張り替えや、リフォームの現場で内装工事をしているとお客様の笑顔を間近で感じる事ができますし、お礼や感謝の言葉は仕事のモチベーションアップにもつながります。設計、デザイン、建築、地盤工事から初め外装仕上まで他の職種の間と協力と調整しなければなりません。

内装工事は細かい手作業なので手たれする時間が重要で、すぐに上手くできる人は少ないと思います。しかし、経験を重ねると技術力が上が、て手、足、体が動くようになります。その経験年数から職人の技が生まれます。自分が頑張った事が自分の身に付けるのでやりがいを感じられます。

タイトル: 自分の仕事のやりがい

会社名: (株) 兼藤 氏名: ウィン ミント (WIN MYINT TUN) 出身国: ミャンマー

私は初めて現場に入った時の感情は不安と緊張感ばかりでした。日本語も分からない事も多くておこられました。日常の会話や普通の日本語は勉強して来ましたが建設業の言葉や現場用語が難しく困った時もありました。今、日本語の3級を受かってロシアの技能検定3級も合格しました。仕事に少しなれてきた今は自分が選んだ道は正しいと思います。自分自身も興味も有ってやりがいも有って魅力的な仕事で最高です。

貴重な時間をいたなき、ご清聴ありがとうございました。